

能登少年自然の家の令和5年度管理状況

様式 1

施設所管課	教育委員会事務局生涯学習課
施設管理者	一般財団法人石川県県民ふれあい公社 理事長 小嶋 正敬
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
中期経営目標 (R4～R9)	・利用者数を5年間で4%増加させます。 ・利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	職員の資質向上 ・石川県青少年教育施設協議会主催の資質向上研修会の受講 ・能登町主催の小中学校向け海洋環境教育に係る研修会に参加 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・利用団体アンケートの実施 体験活動プログラムの実施 ・サマーチャレンジ(延99名参加) ・いしかわ子ども自然学校の開催15プログラム(延843人参加) ・SDGsエコキャンプの実施(延70名参加)
② 広報活動	施設の情報提供、広報、広告 ・常に新しい情報を提供できるようホームページの充実 ・主催事業広報用リーフレットの作成、能登町、珠洲市の学校、保育所、公民館に配布 ・近隣の小中学校をはじめ、企業や公民館等を訪問するなど施設利用をPR ・新聞等マスコミ関係イベント情報を提供

(2) 令和6年度における取組内容の見直し等

実施内容
・震災で能登の子供たちの活動が厳しくなった為、里海・里山教室を開催し地元石川の良さを見つめ直す。また、自然学校として奥能登での出前講座を実施する。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H29～R1 年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	前年度比	基準値比	R8年度 (目標値)
(1) 利用者数（人）	21,668人	3,407人	6,183人	10,999人	177.9%	50.8%	22,550人
(2) 貸館稼働率(%)	39.5	9.4	14.8	38.4	23.60 ^{ポイ}	-1.10 ^{ポイ}	
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス(%)	95.0	89.0	93.8	80.0	-13.80 ^{ポイ}	-15.0 ^{ポイ}	95.0
施設の維持管理(%)	95.0	62.5	70.8	68.0	-2.80 ^{ポイ}	-27.0 ^{ポイ}	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

＜利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由＞

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	能登半島地震の影響によりR6.1.1より休館した。休館中は、救助・復旧支援団体等を受け入れた。	学校団体の利用が減少していること、また能登半島地震の影響によりR6.1.1より休館したことにより基準値を下回った。

＜利用者アンケート結果(有効回答数25件)＞

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス(%)	80.0	20.0	0.0	0.0
施設の維持管理(%)	38.0	32.0	0.0	0.0

3 施設等の維持管理

項 目	実施内容
(1) 清掃	・ 日常清掃：毎日1～2回 ・ 特別清掃（床ワックスがけ）：年1回
(2) 設備保守点検	・ 電気設備：年6回 ・ 消防用設備：年2回 ・ 簡易水道検査：年1回 ・ 鼠、昆虫等の防除（年1回） ・ 合併処理施設 点検（維持管理）月4回×12ヶ月
(3) 植栽維持管理	草刈り 樹木剪定 敵宣
(4) 警備	・ 施設全体の警備（常駐、夜間警備（宿泊者がいる場合）、巡回警備等）及び駐車場管理を毎日実施
(5) 小規模修繕	・ 大型バス車検整備・洗浄機修繕・大型カーヌー修繕など

4 管理運営体制

項 目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・新型コロナウイルス感染症に対する危機管理として、宿泊施設に関する業界団体ガイドライン等に基づいて対応 ・緊急連絡網、危機管理マニュアル、消防計画等の見直し・作成・避難訓練の実施 年2回(R5年度は震災の影響で行えず1回実施)
(2) 個人情報の管理状況	・基本協定（個人情報の取扱いに係る特記事項）に基づき適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項 目	許可件数	不許可件数	不許可理由
能登少年自然の家	26		
合 計	26	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

項 目	収入額	減免額	減免理由
食事料	5,550		
寝具料	506		
暖房・カヌー利用料等	204		
合 計	6,260	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	36,329	人件費	22,583
利用料収入	6,353	光熱水費	3,972
その他	2,471	修繕費	1,713
		その他	13,965
合 計 ①	45,153	合 計 ②	42,233
収支差額 ①－②	2,920		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和5年4月	夜寒くて寝られない生徒が複数名いた	部屋に毛布を設置し対応
令和5年7月	食堂のふきんが足りなかった、手洗いソープが切れていた、ゴミ箱が少ない	テーブルに1枚布巾を設置した。 手洗いソープは、団体入所前に確認することとした。 ゴミ箱は、基本お持ち帰りいただいているのでそのようにお声がけをして対応する。

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
	なし	

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	・積極的に自主事業の企画・実施を行い、日帰り客の利用促進に取り組んでいる。 ・奥能登地区の学校、保育所、公民館等を訪問し、施設PRに努めるとともに、ホームページの迅速な更新により常に新しい情報を提供する等、積極的に情報発信を行っている。
(2) 施設等の維持管理	B	・利用者の安全性を考慮し、施設の修繕等に積極的に対応している。 ・施設内は利用者の目線での対応がなされている。また、館内展示をさらに工夫し、利用者の学習環境作りに努めている。
(3) 管理運営体制	B	・教育施設としての機能が発揮できる、適切な職員配置がなされている。 ・非常時の緊急連絡網、消防計画、海洋活動に係る安全規程等が定められ、安全対策が適切である。 ・天候悪化による活動内容の変更にも柔軟に対応できるよう周辺施設との連携体制が構築されている。 ・高校生ボランティアを積極的に受入れ、きめ細やかな指導ができる体制を整えている。 ・能登半島地震により建物が被災し、休館中であるが、被災地支援団体を受け入れる体制を整えている。
総合評価	B	・仕様書等に基づき適切な管理運営を行うとともに、施設利用のPRや利用者満足度の高いサービスの提供に積極的に取り組んでいる。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項